

(別紙)

6 主な事業に関する調べ

事業名		地域に根差した魅力ある学校づくり推進事業				
施策の実施状況、成果・進捗状況・問題点等						
(単位：千円)						
当初予算額	補正等予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
40,828	(2月)▲1,341 (流用)▲2,207	37,280	25,951	—	11,329	
1 主な事業の実施状況						
(1) 県外生徒募集活動						
・「地域みらい留学」への参加 全国各地の高校魅力化に実績のある島根県の財団法人が主催する、県外高校への進学を検討する都市部等の中学生・保護者と県立高校のマッチングイベント（地域みらい留学）に7校（青谷、岩美、智頭農林、倉吉農業、境、境港総合技術、日野）が参加し、生徒募集活動を行った。						
・県外生徒の受入環境整備事業 県外生徒を受け入れるため、同窓会や学校運営協議会等が運営する学生寮や、県外生徒を受入れる下宿先に対して支援を行った。						
・SNS等を活用した魅力発信 県外生徒募集校についてのPR映像を活用したYouTube広告を関東、関西、名古屋エリアにおいて配信し、各高校の魅力を発信した。						
(2) 魅力ある学校づくり推進事業						
・青谷高校において、地域資源の「青谷上寺地遺跡」を活かした学習を行った。遺跡の発掘体験や土器づくり体験、先端の研究者の講演等、考古学という他の高校にはない魅力の打ち出しを行った。						
・岩美高校においては、「製菓」「調理」といった科目を設定し、実習に必要な調理器具等を整備するとともに、地元料理店の方を講師に招き調理実習を行った。						
・智頭農林高校では、地元智頭町と連携し、生徒が授業で学んだことを学校外でも活かすための活動拠点（BASE Connect）において、魅力化コーディネーターの支援のもと地域住民とふれあうイベントの開催等、高校の魅力化にとどまらず、地域活性化にもつながる取組を行った。						
・倉吉農業高校においては、ドローンや水管理システムなどのICT機器を農業に活用するなど、スマート農業の実践や、和牛飼育の研究に取り組んだ。						
・鳥取中央育英高校においては、生徒がスポーツ指導者として地域の小中学生と関わることで、地域における学校教育の理解促進を図った。						
・日野高校では、県外生徒が鳥取県の魅力を知り、さらなる地域の活性化、地域づくりにつなげるためのふるさとキャリア教育を推進した。						
(3) 県立高校コミュニティ・スクール運営費 「社会に開かれた教育課程」を実現するため、地域住民や保護者等が委員を務める学校運営協議会を開催し、地域住民等の意見を取り入れた学校運営を行った。						
(4) 次期「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針」策定に係る検討経費 令和7年3月15日に「令和新時代の県立高等学校教育の在り方に関する基本計画＜前期＞（令和8年度～令和12年度）」を策定した。						
2 事業の成果（改善状況）・課題等						
・県外からの中学生の入学につなげた。						
＜県外からの入学者数＞（全県立高校）						
(人)						
R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
44	46	52	54	58	74	64
・県外生徒受入れのためには、学生寮などの住環境が整っていることが必要となるが、県営の学生寮を有する県立高校は3校しかいないため、同窓会等が運営する民間寮や私立高校の学生寮の活用、下宿制度等により住環境整備に努めている。今後も地元自治体等と連携しながら、住環境整備を進めていく。						
・さらに地域と連携した取組を推進し、高校の魅力化だけでなく、魅力と活力のある地域づくりにつなげていく必要がある。						
・「令和新時代の県立高等学校教育の在り方に関する基本方針（令和8年度～令和17年度）」に基づき、関係機関等の意見を聞きながら施策を具体化・明確化し、その実現に努めていく。						

(別紙)

6 主な事業に関する調べ

事業名		つながる ひろがる 高校魅力充実事業				
施策の実施状況、成果・進捗状況・問題点等						
(単位：千円)						
当初予算額	補正等予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
11,122	—	11,122	10,646	—	476	
1 主な事業の実施状況						
(1) 生徒募集						
○県外生徒募集推進（魅力化統括コーディネーターによる生徒募集活動）						
・休日や平日夜間における入試説明会（27回）、学校説明会（4回）を開催した。						
・県外において、各高校の魅力発信・生徒募集活動を行った（4回）。また、県外生徒募集活動実施校が集合する会を2回設け、各校の取組状況を共有し、それぞれの取組のさらなる発展につなげた。						
○地域との連携による住環境整備推進						
・県と地元自治体が連携して運営支援する民間寮について、入居者が収容定員の2/3に満たない状況が2年度以上続く場合、家賃相当額の一部（収容定員の2/3に満たない部分）を地元自治体と折半して補助する制度を創設した。						
(2) 専門高校等魅力化						
○出かける高校魅力発信事業（出張体験入学）						
中学生及び保護者等へ県立高校の魅力を発信し、理解を深めてもらうことをねらいとして、大型商業施設において「トットリ・ハイスクール・アドベンチャー」を開催した。						
[西部会場：イオンモール日吉津]						
日 時：令和6年8月8日（木）（午前11時から午後3時まで）						
参加校：倉吉東、倉吉西、倉吉農業、鳥取中央育英、米子東、米子西、米子、米子南、米子工業、境、境港総合技術、日野						
来場者数：約200人 学校紹介ブース対応者数（延べ）約465人（各校平均 約39人）						
[東部会場：イオンモール鳥取北]						
日 時：令和6年8月9日（金）（午前11時から午後3時まで）						
参加校：鳥取西、鳥取商業、鳥取工業、鳥取湖陵、青谷、岩美、智頭農林、倉吉東、倉吉農業、倉吉総合産業、鳥取中央育英						
来場者数：約300人 学校紹介ブース対応者数（延べ）約850人（各校平均 約77人）						
[参加者の声]						
* 来場者						
・ステージやブースでの話がすごく楽しかった。高校の雰囲気や部活の様子が聞けて良かった。						
・進路をまだ決めていなかったが、たくさんの高校の話を聞け、資料もたくさんの高校からもらうことができたので、家で改めて見てみようと思う。将来のことを考えようと思った。						
・複数校の雰囲気が知れたのが良かった。たまたま参加できて良かったが、このようなイベントは、中学校をとおして案内してくれたらよいと思う。（保護者）						
* 高校生						
・たくさんの方が来てくれて、単純に嬉しかった。学校や自分のことを誰かに分かり易く伝えることの楽しさや難しさを知るきっかけになった。						
・高校生が“見ず知らずの人”に話しかけ、考えながら自分の言葉を伝える機会は多くはない。すごく新鮮な体験だったし、自分も一歩踏み出せたと思う。						
○専門高校魅力化推進事業						
・鳥取工業高校において、ドローンを活用した測量や映像分析、プログラミング学習をとおし、即戦力となる産業人材の育成を推進した。						
・米子南高校において、食の魅力をSNS等で発信するなどのビジネス教育をとおした商業人材の育成を推進した。						
・境港総合技術高校において、高等教育機関等と連携した水中ドローンを用いた水産資源量調査等をとおして海洋分野の人材育成を推進した。						
2 事業の成果（改善状況）・課題等						
・県外からの中学生の入学につなげた。						
<県外からの入学者数>（全県立高校）						
(人)						
R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
44	46	52	54	58	74	64
・中学生や保護者等の県立高校の魅力、特色の理解促進につなげた。						